

2022年7月29日

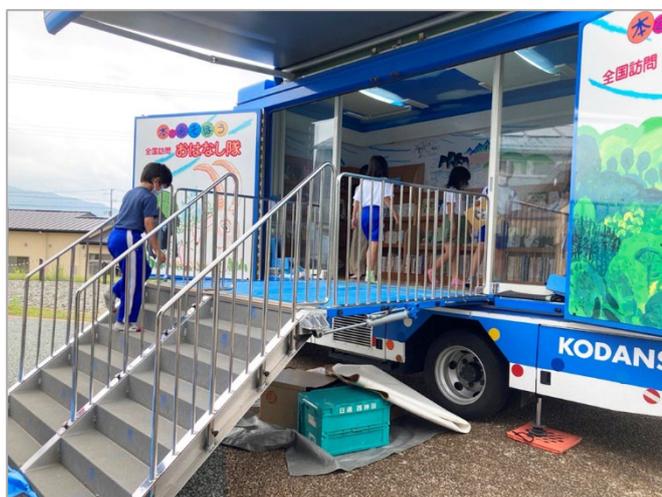
おはなし隊日記 2022年7月 岩手県編 牧野 博美隊長

◆7月15日(金) 午前 陸前高田市立気仙小学校



岩手県訪問3日目は、東日本大震災による津波で全壊後、高台に再建された陸前高田市立気仙小学校です。気仙杉など県産材がふんだんに使われている新校舎はとてもステキで、その中の特徴的な円形の美しい建物「風のホール」がおはなし隊の会場になりました。たくさん窓から温かい光が差し込むこのホールは、普段は太鼓など郷土芸能伝承の場として地域の方々も利用されているそうです。小雨が降ったり止んだりのお天気だったため、マリブルーのキャラバンカーとホールをブルーシートでつなげて設営。わくわくしながら子どもたちをお迎えしました。

参加してくれたのは1・2年生。みんなキャラバンカーとホールを何回も行き来しながら、何冊もの絵本を笑顔で読んでいました。なかでも怖い話や妖怪の絵本は大人気で、遠野物語などの民話が身近な岩手県らしさを感じました。





おはなし会では海が近いので『ちゅうちゅうたこかいな』、リアルな猫たちが笑える『ねこです。』、そして『せんそうしない』と続けました。読む前振りに「みんな戦争ってわかる？」と尋ねると、「攻撃することですよ？」と男子児童。読み終わった後の「おもしろかった……」という女子児童の眩きも印象的でした。最近のニュースに、子どもたちもいろいろなことを感じているのだと改めて思いました。続けて読んだ『もったいないばあさんの てんごくと じごくの はなし』では、「すこし怖かった」と言う児童も。最後の大型紙芝居『イカタコツルツル』では、コロナ対策のために声を出さないように注意しながら、一緒にラーメンをすすする真似をして盛り上がりました。

おはなし会の後で先生が「今日の感想を言いたい人」と尋ねると、「いろいろな本が読めて楽しかった」「読んだことがない本があって面白かった」など、たくさんの児童が手をあげてくれて嬉しかったです。

これからもたくさんの本を読んで、本を大好きになってくださいね！

◆7月16日(土) 午前 盛岡市浜民公民館

岩手県訪問4日目。今日は認定特定非営利活動法人インクルいわて主催の「インクルこども食堂と講談社おはなし隊のコラボイベント」です。前日は豪雨だったものの、この日の朝には雨も止み、予定通りの開催となりました。こども食堂のスタッフと高校生ボランティアの皆さんにもお手伝いいただき、キャラバンカーを盛岡市浜民公民館の駐車場に設営。お天気ならばロケーションのすばらしい場所のはずでしたが、目の前の岩手山は半分雲隠れしていて、やっぱり雨が心配。ブルーシートの見学スペースに雨よけテントを張って子どもたちを待ちました。





時間になると、事前予約をした親子連れがたくさん訪れてくれました。「おはなし隊」の岩手県訪問は久しぶりのため、みんな初めて見るキャラバンカーに目を輝かせています。お母さんに読み聞かせしてもらっている子、次々と好きな本を選んで一生懸命自分で読んでいる子、年齢もさまざまな子どもたちが思い思いの接し方で、キャラバンカーの絵本を楽しんでいました。

おはなし会はそのままキャラバンカーの前で行いました。参加してくれた小さい子どもから小学生まで幅広い年齢層に楽しんでもらえるような本を選びました。言葉遊びが楽しい『ちゅうちゅうたこかいな』、いろいろな猫の姿が楽しめる『ねこです。』、そして昨今の世界情勢を踏まえて選んだ『せんそうしない』、まさにこの日の空模様になぞらえた『ふってきました』です。大型紙芝居『もったいないばあさん まほうのくにへ』では、東北新幹線のヒーロー・はやぶさの登場にみんな大喜びでした！



今回は特別におはなし会の後も見学の時間を設けました。途中で雨が降ってきてしまい、予定時間いっぱいまで開催することができず残念でしたが、「来てくれてありがとう」「今日はたくさん絵本が読めて本当に楽しかった！」「また来てね！」と言う子どもたちの笑顔に、元気をたくさんもらえました！もちろんまた来ます。みんな待っててね!!